

音楽療法学生と教員のための  
オンラインプロジェクト

# インタビューズ

## VOL.1 わたしが音楽療法士になった理由<sup>わけ</sup>

第 12 回

狩谷美穂 × 松崎聡子

2021 年 6 月 24 日 (木)

19:00~20:45

日本と米国、お互い異なる国で音楽療法を学び音楽療法士として活動するふたり。試行錯誤で仕事を作り出す、終わりなき臨床の探求、そして職能団体として音楽療法士を束ねる役割を通して学ぶことは山ほどあるという。普段は語られない人としての音楽療法士にスポットライトを当てた対談です。

新型コロナウイルスの感染拡大から約 1 年半が経ちました。感染収束の見込みがない中、安定して活動を実施できない音楽療法の現場も多く、音楽療法を学ぶ学生たちにとっては学外での臨床実習を十分に経験できないという厳しい状況が続いています。昨年 5 月、学生にオンラインの利点を生かした学びと交流の機会を提供するために始まった「インタビューズ」は皆様のご協力のもと、第 11 回を終了することができました。心より御礼申し上げます。

毎回、予想を超える多くの方にご視聴いただき、大きな反響が寄せられています。そして何より私たちが大切だと感じているのは、経験豊かな音楽療法士による対談型のインタビューが、単に登壇者から学生への一方的な語りかけにとどまらず、学生からの積極的なフィードバックを生み、学生・教員間、教員・教員間の対話のきっかけとなっているということです。Vol.1 は今回 (第 12 回) で終了しますが、今後も新しい動きを敏感に感じ取りながら、Vol.2 へと進んでいきたいと考えています。引き続きのご支援を宜しくお願いいたします。

世話役 高田由利子、三宅博子、井上勢津



狩谷美穂 (かりやみほ)

ニューヨーク市立大学 The City College 音楽学部卒業。Lesley University 大学院表現芸術療法研究科音楽療法・精神カウンセリングコースにて修士課程修了。広島文化学園大学音楽療法士養成専任講師として 4 年間勤め、退職後は音楽の力で人間の可能性を最大限に高めることをミッションとした音楽療法事務所 MUSIC POWER for ALL. を立ち上げる。現在は 5 名のスタッフと共に音楽療法を提供、スーパーバイザーとして臨床指導を行う。広島文化学園大学看護学部非常勤講師。

松崎聡子 (まつざきさとこ)

音楽学校卒業後、学校法人信州学園音楽教諭として幼児科音楽教育に従事。その後音楽療法士となり、高齢者施設、成人障がい者施設、小児科クリニック、特別支援学校等で乳幼児から高齢者まで幅広く実践。現在は、主に児童領域での実践をしており、放課後等デイサービス、発達支援センター、こども病院等で臨床を積む。洗足音楽学園大学音楽療法アドバンスコース修了。音楽療法のためのオリジナル曲集「だれかの音がする」を共著で出版。兵庫県音楽療法士。日本音楽療法学会認定音楽療法士。兵庫県音楽療法士会前理事長。



「インタビューズ Vol.1 わたしが音楽療法士になった理由」は第 12 回で終了となります。今秋以降、Vol. 2 が始まります。詳細は 8 月以降に「インタビューズ」の facebook などでお知らせします。どうぞ、お楽しみに！

“学生同士で話してみたい”…そんな声にお応えて  
音楽療法を学ぶ学部学生のための特別企画  
「みんなで音楽療法について考える」

7 月 22 日 (木・祝) 19:00~21:00

\* 詳細は「インタビューズ」の facebook など 6 月中旬頃に発表します。

### 第 12 回お申込み

以下のフォームからお申込みください。定員 100 名  
<https://forms.gle/NiZ8atQQboTbfZHx5>

\* 学生・教員優先 (6 月 14 日まで優先申込)

✉ [musictherapyinterviews360@gmail.com](mailto:musictherapyinterviews360@gmail.com)